

製品名: 53BP1 (2B15) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe06335**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:20-1:50
分子量	214kDa

抗原情報

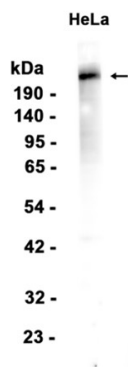
遺伝子名	TP53BP1
別名	Tumor suppressor p53-binding protein 1; 53 BP1; p53-binding protein 1; p53BP1; TP53BP1; p53-BP1; p202;
遺伝子 ID	7158.0
SwissProt ID	Q12888
免疫原	ヒト 53BP1 の合成ペプチド

背景

有糸分裂中のチェックポイントシグナル伝達に関与している可能性がある。TP53 を介した転写活性化を促進する。DNA 損傷への応答において役割を果たす。二本鎖切断 (DSB) 修復タンパク質は、DNA 損傷への応答、テロメアダイナミクス、および抗体産生中のクラススイッチ組換え (CSR) に関与する (PubMed:12364621、PubMed:22553214、PubMed:23333306、PubMed:17190600、PubMed:21144835、PubMed:28241136)。DNA 損傷に対する二本鎖 DNA 切断 (DSB) の修復において、非相同末端結合 (NHEJ) を介した DSB 修復を促進し、相同組換え (HR) 修復タンパク質 BRCA1 の機能を特異的に阻害することで重要な役割を果たします (PubMed:22553214、PubMed:23727112、PubMed:23333306)。DSB への応答として、ATM によるリン酸化は RIF1 との相互作用と NUDT16L1/TIRR からの解離を促進し、DSB 部位へのリクルートメントにつながります (PubMed:28241136)。DSB 部位に存在する 2 つのヒストンマーク、Lys-15 でモノユビキチン化されたヒストン H2A (H2AK15Ub) と Lys-20 でジメチル化されたヒストン H4 (H4K20me2) を認識して結合することにより、DSB 部位にリクルートされます (PubMed:23760478、PubMed:28241136、PubMed:17190600)。抗体産生における免疫グロブリンクラススイッチ組換え (CSR) に必須であり、この過程で DNA DSB が生成されます (PubMed:23345425)。CSR 中に切断された DNA 末端の修復と配向に関与します (類似性による)。一方、古典的な NHEJ 組換えおよび V(D)J 組換えには必須ではありません (類似性による)。PAXIP1 との相互作用を介して機能不全テロメアの NHEJ を促進します (PubMed:23727112)。

研究分野

画像データ



53BP1 (2B15) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。